

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和6年10月21日
クラス名(年齢)	たんぽぽ(2歳児)
年間テーマ	音の探究活動

## 1、活動テーマ

<テーマ>

トンネルくぐり

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

・素材に触れてみて、触覚から始まって触り方を変えることによって音が変わることを感じられるようにした

## 2、活動スケジュール

・自由にトンネルをくぐって遊んでみる

## 3、環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)




・運動会の競技で使ったトンネル(衣類や布団を圧縮する透明なビニールで作った)

## 4、探究活動の実践

<活動内容>

・運動会ではトンネルをくぐって通り過ぎるのみだったが、自由に遊ぶことによって中で留まって、トンネルの外にいる友達と目を合わせて笑い合うなど、友達との触れ合いを楽しむ中でトンネルの素材にも興味を持ち、遊びにつなげていく

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<p>・友達と連なって這い這いをしながらトンネルをくぐっていた。だんだん透明のトンネルの中から見える外の景色の新鮮さに気付く</p> <p>・トンネルの中に留まる子と、外にいる子で目が合い、ビニールをはさんで「タッチ」と手を合わせて楽しんでいた。その時に固めのビニールのガサガサバサバサという音に気付く</p> <p>・友達と手を合わせることも、ビニールの音や感触が面白くて、強めに叩いてみたり、トンネル自体を揺すって見たりして大きな音を出そうとして楽しんでいた</p> <p>・トンネルの中にいる子ども、ビニールの音とその音を出している友達の姿を見て、面白そうに笑っていた</p>	  

## 5、振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

・運動会で使った手作りのトンネルで、しばらく遊んで運動会の余韻を楽しんだり、身体を動かして遊ぶことを楽しむ中で、子どもたちがビニールという素材の感触から、音が出ることを発見していた。それによって触ることよりも音を出すことの面白さに気付いた。大人の思う以上に、子どもは意外な方向に遊びを発展させることができるのだと気付いた